

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL) 059(227)2932
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,937	25.0	399	826.7	416	835.5	273	—
30年3月期第2四半期	2,349	△6.3	43	△77.4	44	△76.0	8	△90.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 267百万円(—%) 30年3月期第2四半期 11百万円(△88.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	34.90	—
30年3月期第2四半期	1.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	7,358	3,463	47.1
30年3月期	6,933	3,275	47.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 3,463百万円 30年3月期 3,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	10.2	450	40.9	460	41.0	320	211.9	40.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	8,257,600株	30年3月期	8,257,600株
31年3月期2Q	431,160株	30年3月期	431,159株
31年3月期2Q	7,826,441株	30年3月期2Q	7,864,041株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業損益に反映するという特徴があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1. 業績等の概要

(1) 業績

当社グループでは、前連結会計年度からの数年間を商品開発に集中的に取り組む商品開発ステージと位置づけており、当第2四半期連結累計期間においても研究開発活動に積極的に取り組んでまいりました。

売上面では、昨年10月に主力商品のバージョンアップ版を投入したことから、当第2四半期連結累計期間においても更新需要を着実に取り込み、堅調な販売が続いております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して25.0%増加し2,937百万円となりました。

コスト面では、引き続き研究開発や商品開発に積極的に資金を投下しており、当第2四半期連結累計期間の研究開発費は前年同期に比して56.6%増加し199百万円となりました。この結果、経常利益は416百万円(前年同期比835.5%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、273百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

①建設関連事業

建設関連事業につきましては、昨年10月に土木工事積算システムの新バージョン『Gaia(ガイア)10』を投入したことにより、当第2四半期連結累計期間においてもバージョンアップ効果が継続しております。比較期間である前第2四半期連結累計期間が、バージョンアップ前の販売が低調であった期間ということもあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して28.9%増加し2,110百万円となりました。

利益面では、研究開発投資などのコスト増加要因はあったものの、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は295百万円(前年同期比760.0%増)となりました。

②設備関連事業

設備関連事業につきましては、前期から取り組んできた販売店とのリレーション強化の効果が現れ、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して16.2%増加し827百万円となりました。

利益面では、販売促進費などのコスト見直しを進めた効果もあり、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は114百万円(前年同期比494.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が904百万円増加し、受取手形及び売掛金が352百万円、有価証券が199百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて424百万円増加し、7,358百万円となりました。

負債は、前受収益及び長期前受収益が33百万円、未払法人税等が128百万円、賞与引当金が49百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて236百万円増加し、3,894百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により273百万円増加し、配当により78百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて188百万円増加し、3,463百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.2ポイント下降し、47.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは824百万円の増加（前年同四半期は296百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益416百万円の計上、賞与引当金の増加額49百万円、売上債権の減少額353百万円などの収入があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは154百万円の増加（前年同四半期は44百万円の減少）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入200百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円、関係会社貸付けによる支出20百万円などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは78百万円の減少（前年同四半期は94百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて901百万円増加し、3,777百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月3日に、最近の業績動向を踏まえ、期初に発表いたしました業績予想を修正いたしました。しかしながら今般、法人税の見込額をより精緻に見積りましたところ、試験研究費にかかる税額控除の算定に誤りがあり、法人税額が過大に見積もられていたことが判明いたしました。従いまして、平成30年10月3日に発表した業績予想の「当期純利益」を以下の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,600	450	460	260	33.22
今回修正予想 (B)	5,600	450	460	320	40.89
増減額 (B-A)	—	—	—	60	
増減率 (%)	—	—	—	23.0	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	5,077	319	326	102	13.07

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,493,011	4,397,742
受取手形及び売掛金	1,069,857	717,064
有価証券	456,309	256,838
商品及び製品	5,174	3,550
原材料及び貯蔵品	9,876	7,485
その他	217,953	223,293
貸倒引当金	△300	△400
流動資産合計	5,251,883	5,605,574
固定資産		
有形固定資産	227,645	228,306
無形固定資産		
のれん	225,161	214,607
その他	22,932	31,112
無形固定資産合計	248,094	245,719
投資その他の資産		
投資有価証券	2,380	2,404
繰延税金資産	761,895	815,072
その他	444,040	463,888
貸倒引当金	△2,002	△2,077
投資その他の資産合計	1,206,312	1,279,287
固定資産合計	1,682,052	1,753,314
資産合計	6,933,936	7,358,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,197	136,198
未払法人税等	85,509	214,238
前受収益	900,223	915,448
賞与引当金	202,896	252,058
その他	349,280	356,260
流動負債合計	1,681,107	1,874,205
固定負債		
退職給付に係る負債	602,589	626,369
長期前受収益	1,369,722	1,388,063
その他	5,320	6,300
固定負債合計	1,977,631	2,020,732
負債合計	3,658,739	3,894,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	1,588,509	1,783,369
自己株式	△103,093	△103,094
株主資本合計	3,269,899	3,464,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△918	94
為替換算調整勘定	6,212	△909
その他の包括利益累計額合計	5,294	△814
非支配株主持分	2	6
純資産合計	3,275,196	3,463,950
負債純資産合計	6,933,936	7,358,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,349,489	2,937,659
売上原価	579,578	616,478
売上総利益	1,769,911	2,321,180
販売費及び一般管理費	1,726,777	1,921,468
営業利益	43,133	399,712
営業外収益		
受取利息	408	580
受取配当金	32	32
為替差益	587	7,715
技術指導料	-	6,000
雑収入	1,202	2,813
営業外収益合計	2,231	17,141
営業外費用		
支払利息	-	15
障害者雇用納付金	800	-
雑損失	12	42
営業外費用合計	812	57
経常利益	44,552	416,796
特別損失		
固定資産除却損	-	16
投資有価証券評価損	114	-
有価証券売却損	2,878	-
特別損失合計	2,993	16
税金等調整前四半期純利益	41,559	416,780
法人税、住民税及び事業税	19,142	196,840
法人税等調整額	13,478	△53,184
法人税等合計	32,620	143,655
四半期純利益	8,939	273,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,939	273,124

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	8,939	273,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,176	1,012
為替換算調整勘定	△530	△7,118
その他の包括利益合計	2,645	△6,105
四半期包括利益	11,585	267,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,585	267,015
非支配株主に係る四半期包括利益	0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	41,559	416,780
減価償却費	16,244	14,470
のれん償却額	10,554	10,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	174
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,717	49,162
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	560	980
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,778	23,780
受取利息及び受取配当金	△440	△612
有価証券売却損益(△は益)	2,878	-
投資有価証券評価損益(△は益)	114	-
固定資産除却損	-	16
売上債権の増減額(△は増加)	76,364	353,041
たな卸資産の増減額(△は増加)	446	4,016
仕入債務の増減額(△は減少)	3,804	△6,998
未払又は未収消費税等の増減額	△8,903	24,851
前受収益の増減額(△は減少)	49,134	15,224
長期前受収益の増減額(△は減少)	105,274	18,340
その他	△4,056	△31,776
小計	307,596	892,006
利息及び配当金の受取額	3,470	250
法人税等の支払額	△14,133	△67,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	296,934	824,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△231,800	△236,900
定期預金の払戻による収入	232,400	233,600
有価証券の取得による支出	△300,003	-
有価証券の償還による収入	300,622	200,466
有形固定資産の取得による支出	△2,544	△7,190
無形固定資産の取得による支出	△8,043	△14,503
関係会社株式の取得による支出	△10,000	-
関係会社貸付けによる支出	△25,000	△20,000
敷金及び保証金の差入による支出	△705	△597
敷金及び保証金の回収による収入	556	214
その他	-	△274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,518	154,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	△94,467	△78,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,467	△78,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157,952	901,431
現金及び現金同等物の期首残高	2,192,502	2,876,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,350,454	3,777,642

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,637,572	711,916	2,349,489	—	2,349,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,978	2,000	9,978	△9,978	—
計	1,645,550	713,916	2,359,467	△9,978	2,349,489
セグメント利益	34,339	19,348	53,687	△10,554	43,133

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,110,221	827,438	2,937,659	—	2,937,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,305	3,300	20,605	△20,605	—
計	2,127,526	830,738	2,958,264	△20,605	2,937,659
セグメント利益	295,317	114,949	410,266	△10,554	399,712

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。